



平成27年5月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アイケイ

コード番号 2722 URL <http://www.ai-kei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯田 裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括

(氏名) 高橋 伸宜

TEL 052-856-3101

定時株主総会開催予定日 平成27年8月20日

配当支払開始予定日

平成27年8月21日

有価証券報告書提出予定日 平成27年8月21日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期の連結業績(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|--------|------|------|-------|------|-------|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年5月期 | 12,476 | 4.3 | 64 | △39.3 | 68 | △52.1 | △49 | — |
| 26年5月期 | 11,960 | △2.9 | 105 | △48.5 | 142 | △38.9 | △34 | — |

(注) 包括利益 27年5月期 △47百万円 (—%) 26年5月期 △34百万円 (—%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益 | 自己資本当期純利益 率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|--------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 27年5月期 | △26.92 | — | △3.4 | 1.5 | 0.5 |
| 26年5月期 | △19.47 | — | △2.3 | 3.3 | 0.9 |

(参考) 持分法投資損益 27年5月期 一百万円 26年5月期 一百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年5月期 | 4,637 | 1,470 | 31.7 | 789.20 |
| 26年5月期 | 4,425 | 1,480 | 33.4 | 831.98 |

(参考) 自己資本 27年5月期 1,470百万円 26年5月期 1,480百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|--------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 27年5月期 | △79 | 58 | 37 | 113 |
| 26年5月期 | △283 | △78 | 269 | 98 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 26年5月期 | — | 0.00 | — | 18.00 | 18.00 | 32 | — | 2.1 |
| 27年5月期 | — | 0.00 | — | 18.00 | 18.00 | 33 | — | 2.2 |
| 28年5月期(予想) | — | 0.00 | — | 18.00 | 18.00 | | 27.4 | |

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり当期 純利益 |
|-----------|--------|------|------|-------|------|-------|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 6,500 | 16.3 | △50 | — | △40 | — | △50 | — | △26.84 |
| 通期 | 14,300 | 14.6 | 210 | 228.1 | 230 | 238.2 | 120 | — | 64.41 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社プライムダイレクト、除外 1社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|--------|-------------|--------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 27年5月期 | 1,952,000 株 | 26年5月期 | 1,952,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年5月期 | 88,900 株 | 26年5月期 | 172,900 株 |
| ③ 期中平均株式数 | 27年5月期 | 1,839,856 株 | 26年5月期 | 1,770,059 株 |

(参考) 個別業績の概要

平成27年5月期の個別業績(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|--------|------|------|-------|------|-------|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年5月期 | 10,690 | 2.0 | 167 | △12.3 | 10 | △82.5 | △65 | — |
| 26年5月期 | 10,483 | △2.6 | 190 | △32.5 | 58 | △80.3 | △43 | — |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 |
|--------|------------|-------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年5月期 | △35.70 | — |
| 26年5月期 | △24.36 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|--------|-------|--|-------|--|--------|--------|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 銭 | | |
| 27年5月期 | 4,342 | | 1,445 | | 33.3 | 775.89 | | |
| 26年5月期 | 4,221 | | 1,471 | | 34.9 | 827.12 | | |

(参考) 自己資本 27年5月期 1,445百万円 26年5月期 1,471百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績・財政状態に関する分析 | 2 |
| (1) 経営成績に関する分析 | 2 |
| (2) 財政状態に関する分析 | 2 |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 3 |
| 2. 企業集団の状況 | 4 |
| 3. 経営方針 | 5 |
| (1) 会社の経営の基本方針 | 5 |
| (2) 目標とする経営指標 | 5 |
| (3) 中長期的な会社の経営戦略 | 5 |
| (4) 会社の対処すべき課題 | 5 |
| 4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 6 |
| 5. 連結財務諸表 | 7 |
| (1) 連結貸借対照表 | 7 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 11 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 13 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 14 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 14 |
| (表示方法の変更) | 14 |
| (セグメント情報等) | 15 |
| (1株当たり情報) | 18 |
| (重要な後発事象) | 18 |
| 6. その他 | 19 |

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済対策や日本銀行による金融緩和策により、大企業を中心に業績が改善し、雇用環境にも引き続き改善がみられるなど緩やかに回復基調が続きました。しかしながら個人消費では、消費税増税や円安に伴う物価上昇に伴い、足踏み状態が続きました。

このような環境の下、当社グループは経営理念であります「ファンづくり」の実現化に向けて「お客様の満足と喜び」＝「私たちの満足と喜び」となるようその実践を重ねております。

メーカーベンダー事業では、雑貨商品・食品商品問わず、「美容・健康」をキーワードとするジャンルの商品開発に注力してまいりました。また、売上に占める自社開発商品の比率を高めるために、自社開発商品の初年度売上高寄与率を管理指標に設定し、自社開発商品の売上向上に取り組んでまいりました。

SKINFOOD事業では、フランチャイザーであります韓国のSKINFOOD社と原価交渉を行い円安進行による原価率の高止まり対策を行いましたほか、在庫の圧縮に努めてまいりました。店舗の状況といたしましては、不採算店5店と出店期間限定店2店を閉店いたしました一方、新規出店は出店期間限定店1店を含む3店舗に抑えましたことから、当連結会計期間末の店舗数は直営店20店舗（前年同期末24店舗）、FC店1店舗（前年同期末1店舗）となりました。

ITソリューション事業では、新商品の「Mobile First Box Access（クラウド電話帳ソリューション）」の販売を開始いたしましたほか、主力商品であります音声通話録音システム「VOISTORE」の販売強化を図ってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高124億76百万円（前期比4.3%増）、営業利益64百万円（前期比39.3%減）、経常利益68百万円（前期比52.1%減）、当期純損失49百万円（前期は34百万円の当期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。（売上は外部顧客への売上高を記載しております）

・メーカーベンダー事業

セグメントの売上高は112億52百万円（前年同期比7.3%増）となり、営業利益は1億90百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

・SKINFOOD事業

セグメントの売上高は9億68百万円（前年同期比23.0%減）となり、営業損失は57百万円（前年同期は54百万円の営業損失）となりました。

・ITソリューション事業

セグメントの売上高は2億54百万円（前年同期比16.5%増）となり、営業損失は72百万円（前年同期は38百万円の営業損失）となりました。

(次期の見通し)

今後の経済動向は、政府の経済対策効果もあり、緩やかな回復傾向が続くと見込まれておりますが、個人消費の回復までには今しばらくの時間を要すと思われれます。また、円安進行による仕入価格の上昇懸念等から、当社を取巻く環境は引き続き厳しいものと想定されます。

このような環境の中で、メーカーベンダー事業では、引き続き「美容・健康」をキーワードとした商品の自社開発（PB商品開発）に注力し、粗利益率の向上を図っていきます。

SKINFOOD事業では、顧客に喜ばれるサービスを繰り返し繰り返し実践し、顧客との絆を深め、安心・信頼されることで、顧客数の増加を図り既存店の収益力改善に努めてまいります。また、本部スタッフによる店舗サポートを強化してまいります。

ITソリューション事業では、「VOISTORE（音声通話録音システム）」の継続販売のほか、新規開発商品のMobile First Box Access（クラウド電話帳ソリューション）等を販売協力店とともにその販売に注力する一方、固定費の圧縮に努め、収益の改善を図ります。

次期の通期連結業績予想は、売上高143億00百万円、営業利益2億10百万円、経常利益2億30百万円、当期純利益1億20百万円を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末の流動資産につきましては前連結会計年度末に比べ303百万円増加しました。主な流動資産の変動は、「受取手形及び売掛金」が351百万円増加し、「商品及び製品」が68百万円減少したことによります。

当連結会計年度末の固定資産につきましては前連結会計年度末に比べ91百万円減少しました。主な固定資産の変動は、「のれん」が56百万円増加し、「建物及び構築物」が13百万円、投資その他の資産の「その他」が96百万円それぞれ減少したことによります。

この結果、当連結会計年度末の総資産は4,637百万円となり、前連結会計年度末と比べ212百万円増加しました。

(負債)

当連結会計年度末の流動負債につきましては前連結会計年度末に比べ235百万円増加しました。主な流動負債の変動は、「買掛金」が120百万円、「短期借入金」が50百万円、「1年以内返済予定の長期借入金」が40百万円、それぞれ増加したことによります。

当連結会計年度末の固定負債につきましては前連結会計年度末に比べ13百万円減少しました。主な固定負債の変動は、「役員退職慰労引当金」が7百万円増加し、「長期借入金」が21百万円減少したことによります。

この結果、当連結会計年度末の負債は3,166百万円となり、前連結会計年度末と比べ221百万円増加しました。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産につきましては前連結会計年度末に比べ9百万円減少しました。主な純資産の変動は、「利益剰余金」が81百万円減少したこと、株式会社プライムダイレクトを完全子会社とする株式交換を実施したことにより、「資本剰余金」が33百万円増加し、「自己株式」が36百万円減少したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、113百万円（前年同期は98百万円）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動における資金の減少は79百万円（前年同期は283百万円の減少）であります。主な資金の増加要因は、仕入債務の増加120百万円、たな卸資産の減少63百万円、減価償却費59百万円であります。また主な資金の減少要因は、売上債権の増加351百万円、法人税等の支払額78百万円となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動における資金の増加は58百万円（前年同期は78百万円の減少）であります。主な資金の増加要因は、保険積立金の解約による収入90百万円、差入保証金の回収による収入29百万円であります。また主な資金の減少要因は、有形固定資産の取得による支出48百万円、無形固定資産の取得による支出16百万円があったことが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動における資金の増加は37百万円（前年同期は269百万円の増加）であります。主な資金の増加要因は、短期借入金の純増加額50百万円、長期借入れによる収入370百万円であります。また主な資金の減少要因は、長期借入金の返済による支出350百万円であります。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

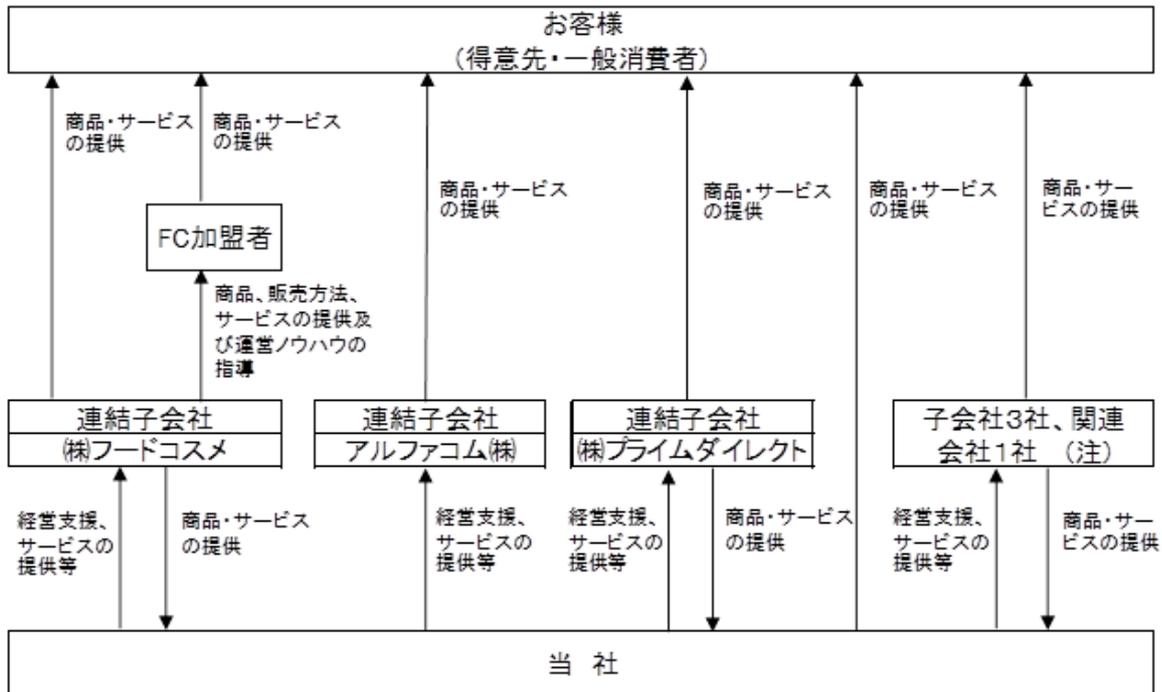
当社は、将来の事業展開に備え内部留保による企業体質の強化を図る一方で、業績に連動した利益配分を実施することを基本方針としております。株主還元につきましては、純資産配当率での利益配分制度をいたしてまいります。

これは、お預りしている株主資本に対しての利息と、株主資本を使用することにより稼ぎ出した収益の還元という両方の要素を含んでおり、株主還元指標として相応しいものと考えております。なお、純資産配当率は2.0%を目途としており、当期の期末配当金は1株につき18円を予定しております。次期の期末配当金は1株につき18円を予定しております。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社と連結子会社3社（株式会社フードコスメ、アルファコム株式会社、株式会社プライムダイレクト）及び持分法を適用していない非連結子会社3社並びに関連会社1社により構成されており、事業内容は雑貨類・食品類を販売するメーカーバンダー事業、化粧品を販売するSKINFOOD事業、コンタクトセンターの構築等を提供するITソリューション事業を主に営んでおります。

事業の系統図は次のとおりであります。



(注) 子会社3社は持分法非適用非連結子会社であり、関連会社1社は持分法非適用関連会社です。

3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「ファンづくり」を共通の経営理念に掲げており、事業の永続発展のために最も大切なものが「ファンづくり」であると考えております。お客様をファン化させる重要なファクターとして「お客様立場主義」を追求しており、商品・サービス・お客様対応など、あらゆる面でのお客様立場主義の実践を目指しております。

また、グループ経営においては、グループ内の経営資源を適切に結合したり、配分したりすることで最大のシナジーを生み、常にグループ全体の最適化を図りながら生々発展させる仕組みを通じ、企業価値を高めていく経営を推進してまいります。

(2) 目標とする経営指標

当社グループは営業利益率10%を目標とする経営指標にしております。この営業利益率10%を達成するために、自社開発商品（P B商品）の開発に注力し、利益率の改善に取り組んでまいります。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、お客様に当社グループのファンになって頂くことを経営の最大目標としております。また、グループ企業間でのシナジー効果を最大化し、収益力を高めるために各種情報の共有化に努めております。商品戦略的には自社開発商品（P B商品）の開発に注力し、多様化するお客様ニーズに応えてまいります。

中期的な目標として、自社開発商品の売上比率60%を目指し、商品ジャンルとしては化粧品、美容機器、美容健康食品の開発に注力してまいります。また、これらの商品を国内外で販売することにより営業利益率10%を目指してまいります。

(4) 会社の対処すべき課題

当社グループの対処すべき課題は、連結子会社3社を加えた企業集団において、経営理念であります「ファンづくり」の実践を通して、お客様から必要とされる企業となり、その企業価値を高めていくことにあります。

メーカーベンダー事業では、自社開発商品（P B商品）の売上高比率を60%まで高めることにより、粗利益率の改善を図り、中期的には営業利益率10%を目指してまいります。また、海外戦略として化粧品を柱として自社開発商品を東南アジア諸国にて拡販を図ります。

S K I N F O O D事業では、店頭での顧客に喜ばれるサービスを繰り返し繰り返し実践し、顧客との絆を深め、安心・信頼される接客を通じて顧客数の増加を図り、既存店の収益力改善に努めてまいります。また、本部スタッフによる店舗サポートを強化してまいります。

I T ソリューション事業では、V O I S T O R E（音声通話録音システム）の継続販売のほか、新規開発商品の「Mobile First Box Access（クラウド電話帳ソリューション）」等を販売協力店とともにその販売に注力する一方、固定費の圧縮に努め収益の改善を図ります。

4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応をしていく方針であります。

5. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年5月31日) | 当連結会計年度 (平成27年5月31日) |
|--------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 98,568 | 113,574 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,149,329 | 2,500,967 |
| 商品及び製品 | 1,226,277 | 1,157,940 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,687 | 9,980 |
| 繰延税金資産 | 18,922 | 12,300 |
| その他 | 138,460 | 145,743 |
| 貸倒引当金 | △2,059 | △2,409 |
| 流動資産合計 | 3,634,186 | 3,938,097 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 307,380 | 290,234 |
| 減価償却累計額 | △135,787 | △132,403 |
| 建物及び構築物 (純額) | 171,592 | 157,830 |
| 土地 | 80,216 | 80,216 |
| その他 | 84,124 | 87,717 |
| 減価償却累計額 | △53,823 | △58,674 |
| その他 (純額) | 30,301 | 29,043 |
| 有形固定資産合計 | 282,111 | 267,090 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | — | 56,200 |
| その他 | 63,707 | 55,396 |
| 無形固定資産合計 | 63,707 | 111,597 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 36,383 | 39,167 |
| 差入保証金 | 213,984 | 187,755 |
| 繰延税金資産 | 27,306 | 22,738 |
| その他 | 177,920 | 81,669 |
| 貸倒引当金 | △10,526 | △10,874 |
| 投資その他の資産合計 | 445,069 | 320,457 |
| 固定資産合計 | 790,887 | 699,145 |
| 資産合計 | 4,425,074 | 4,637,242 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年5月31日) | 当連結会計年度 (平成27年5月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 968,538 | 1,089,386 |
| 短期借入金 | 450,000 | 500,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 307,126 | 347,358 |
| 未払金 | 316,626 | 324,618 |
| 未払法人税等 | 36,963 | 34,507 |
| 返品調整引当金 | 13,581 | 10,750 |
| その他 | 170,475 | 192,397 |
| 流動負債合計 | 2,263,310 | 2,499,019 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 485,699 | 464,605 |
| 退職給付に係る負債 | 78,417 | 74,618 |
| 役員退職慰労引当金 | 113,905 | 121,330 |
| その他 | 3,560 | 7,314 |
| 固定負債合計 | 681,582 | 667,868 |
| 負債合計 | 2,944,892 | 3,166,887 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 401,749 | 401,749 |
| 資本剰余金 | 331,989 | 365,001 |
| 利益剰余金 | 821,443 | 739,884 |
| 自己株式 | △75,730 | △38,938 |
| 株主資本合計 | 1,479,452 | 1,467,697 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 729 | 2,657 |
| その他の包括利益累計額合計 | 729 | 2,657 |
| 純資産合計 | 1,480,181 | 1,470,354 |
| 負債純資産合計 | 4,425,074 | 4,637,242 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成25年6月1日 至 平成26年5月31日) | 当連結会計年度 (自 平成26年6月1日 至 平成27年5月31日) |
|-------------------|--|--|
| 売上高 | 11,960,324 | 12,476,321 |
| 売上原価 | 7,327,933 | 7,569,625 |
| 売上総利益 | 4,632,391 | 4,906,695 |
| 返品調整引当金繰入額 | 13,581 | 10,750 |
| 返品調整引当金戻入額 | 13,282 | 13,581 |
| 差引売上総利益 | 4,632,092 | 4,909,526 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,526,249 | 4,845,287 |
| 営業利益 | 105,842 | 64,238 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 257 | 217 |
| 為替差益 | — | 4,246 |
| 受取手数料 | 4,482 | 3,993 |
| 受取補償金 | 11,776 | — |
| 受取保険金 | 28,297 | 3,851 |
| その他 | 2,317 | 1,633 |
| 営業外収益合計 | 47,131 | 13,942 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,092 | 9,781 |
| その他 | 1,352 | 119 |
| 営業外費用合計 | 10,444 | 9,900 |
| 経常利益 | 142,529 | 68,280 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 5,974 | 6,325 |
| 減損損失 | 65,397 | 25,542 |
| 特別損失合計 | 71,372 | 31,867 |
| 税金等調整前当期純利益 | 71,156 | 36,412 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 97,708 | 75,614 |
| 法人税等調整額 | 7,915 | 10,334 |
| 法人税等合計 | 105,623 | 85,948 |
| 少数株主損益調整前当期純損失(△) | △34,466 | △49,535 |
| 当期純損失(△) | △34,466 | △49,535 |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成25年6月1日 至 平成26年5月31日) | 当連結会計年度 (自 平成26年6月1日 至 平成27年5月31日) |
|--------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前当期純損失 (△) | △34,466 | △49,535 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 310 | 1,928 |
| その他の包括利益合計 | 310 | 1,928 |
| 包括利益 | △34,156 | △47,607 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | △34,156 | △47,607 |
| 少数株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成25年6月1日 至 平成26年5月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 401,749 | 324,449 | 887,573 | △84,490 | 1,529,282 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △31,663 | | △31,663 |
| 当期純損失(△) | | | △34,466 | | △34,466 |
| 自己株式の処分 | | 7,540 | | 8,760 | 16,300 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 7,540 | △66,130 | 8,760 | △49,830 |
| 当期末残高 | 401,749 | 331,989 | 821,443 | △75,730 | 1,479,452 |

| | その他の包括利益累計額 | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------------|-----------|
| | その他有価証券評価差額金 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 419 | 419 | 1,529,701 |
| 当期変動額 | | | |
| 剰余金の配当 | | | △31,663 |
| 当期純損失(△) | | | △34,466 |
| 自己株式の処分 | | | 16,300 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 310 | 310 | 310 |
| 当期変動額合計 | 310 | 310 | △49,519 |
| 当期末残高 | 729 | 729 | 1,480,181 |

当連結会計年度（自 平成26年6月1日 至 平成27年5月31日）

（単位：千円）

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 401,749 | 331,989 | 821,443 | △75,730 | 1,479,452 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △32,023 | | △32,023 |
| 当期純損失（△） | | | △49,535 | | △49,535 |
| 自己株式の処分 | | 33,012 | | 36,792 | 69,804 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | |
| 当期変動額合計 | － | 33,012 | △81,559 | 36,792 | △11,755 |
| 当期末残高 | 401,749 | 365,001 | 739,884 | △38,938 | 1,467,697 |

| | その他の包括利益累計額 | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------------|-----------|
| | その他有価証券評価差額金 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 729 | 729 | 1,480,181 |
| 当期変動額 | | | |
| 剰余金の配当 | | | △32,023 |
| 当期純損失（△） | | | △49,535 |
| 自己株式の処分 | | | 69,804 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 1,928 | 1,928 | 1,928 |
| 当期変動額合計 | 1,928 | 1,928 | △9,826 |
| 当期末残高 | 2,657 | 2,657 | 1,470,354 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成25年6月1日 至 平成26年5月31日) | 当連結会計年度 (自 平成26年6月1日 至 平成27年5月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 71,156 | 36,412 |
| 減価償却費 | 73,912 | 59,588 |
| 減損損失 | 65,397 | 25,542 |
| のれん償却額 | — | 9,917 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △11,613 | 698 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | △67,816 | — |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 78,417 | △3,799 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 6,975 | 7,425 |
| 返品調整引当金の増減額 (△は減少) | 299 | △2,831 |
| 受取利息及び受取配当金 | △257 | △265 |
| 支払利息 | 9,092 | 9,781 |
| 固定資産除却損 | 5,974 | 6,325 |
| 為替差損益 (△は益) | △1,501 | 1,203 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △67,783 | △351,637 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △127,390 | 63,044 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △99,388 | 120,848 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △2,254 | 33,533 |
| その他の資産の増減額 (△は増加) | △62,760 | 433 |
| その他の負債の増減額 (△は減少) | 6,067 | △4,121 |
| その他 | △3,521 | △3,851 |
| 小計 | △126,994 | 8,248 |
| 利息及び配当金の受取額 | 257 | 264 |
| 利息の支払額 | △8,988 | △9,402 |
| 法人税等の支払額 | △154,398 | △78,285 |
| 法人税等の還付額 | 7,058 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △283,066 | △79,174 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △29,045 | △48,331 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △31,710 | △16,051 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △20,000 | — |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △1,500 |
| 貸付けによる支出 | △27,500 | △600 |
| 貸付金の回収による収入 | 14,418 | 16,484 |
| 差入保証金の差入による支出 | △259 | △7,232 |
| 差入保証金の回収による収入 | 20,263 | 29,337 |
| 保険積立金の解約による収入 | — | 90,000 |
| その他 | △4,584 | △3,835 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △78,419 | 58,270 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 330,000 | 50,000 |
| 長期借入れによる収入 | 300,000 | 370,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △345,625 | △350,862 |
| 自己株式の処分による収入 | 16,300 | — |
| 配当金の支払額 | △31,660 | △32,024 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 269,014 | 37,113 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,501 | △1,203 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △90,970 | 15,006 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 189,538 | 98,568 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 98,568 | 113,574 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「流動負債」の「ポイント引当金」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「ポイント引当金」に表示していた7,199千円は、「その他」として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「ポイント引当金の増減額」は重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「その他の負債の増減額」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の負債の増減額」に表示していた7,107千円は、6,067千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業形態別に、「メーカーベンダー事業」、「SKINFOOD事業」及び「ITソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

「メーカーベンダー事業」・・・主に通信販売

「SKINFOOD事業」・・・有店舗でのSKINFOOD化粧品販売

「ITソリューション事業」・・・通信録音システムの販売

なお、当連結会計期間より、報告セグメントの名称を「通信販売事業」から「メーカーベンダー事業」に、「CRMソリューション事業」から「ITソリューション事業」にそれぞれ変更をしております。なお、この名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理基準に基づく金額により記載しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 平成25年6月1日 至 平成26年5月31日）

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1, 2 | 連結 財務諸表 計上額 (注) 3 |
|--------------------|----------------|----------------|-----------------|------------|-----------------|----------------------------|
| | メーカー ベンダー事業 | SKINFOOD 事業 | ITソリュー ション事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,483,537 | 1,258,020 | 218,766 | 11,960,324 | — | 11,960,324 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 7,250 | 912 | 8,162 | △8,162 | — |
| 計 | 10,483,537 | 1,265,270 | 219,678 | 11,968,487 | △8,162 | 11,960,324 |
| セグメント利益又は損失(△) | 190,528 | △54,715 | △38,623 | 97,189 | 8,653 | 105,842 |
| セグメント資産 | 4,221,442 | 487,838 | 83,627 | 4,792,908 | △367,834 | 4,425,074 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 43,836 | 28,619 | 1,456 | 73,912 | — | 73,912 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 29,251 | 37,241 | 1,319 | 67,812 | — | 67,812 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額8,653千円は、連結消去に伴う調整額であります。

2. セグメント資産の調整額△367,834千円は、セグメント間債権債務の消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 平成26年6月1日 至 平成27年5月31日）

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1, 2 | 連結 財務諸表 計上額 (注)3 |
|--------------------|----------------|----------------|-----------------------|------------|----------------|---------------------------|
| | メーカー ベンダー事業 | SKINFOOD 事業 | I T ソリ ュー ション事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,252,662 | 968,826 | 254,831 | 12,476,321 | — | 12,476,321 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 8,914 | 10,927 | 19,841 | △19,841 | — |
| 計 | 11,252,662 | 977,740 | 265,759 | 12,496,163 | △19,841 | 12,476,321 |
| セグメント利益又は損失(△) | 190,034 | △57,096 | △72,182 | 60,755 | 3,483 | 64,238 |
| セグメント資産 | 4,432,826 | 328,102 | 68,729 | 4,829,658 | △192,416 | 4,637,242 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 44,076 | 14,122 | 1,389 | 59,588 | — | 59,588 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 42,693 | 24,283 | 1,900 | 68,877 | — | 68,877 |

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額3,483千円は、連結消去に伴う調整額であります。
 2. セグメント資産の調整額△192,416千円は、セグメント間債権債務の消去額であります。
 3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 平成25年6月1日 至 平成26年5月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 平成26年6月1日 至 平成27年5月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 平成25年6月1日 至 平成26年5月31日）

(単位：千円)

| | メーカーバンダー 事業 | SKINFOOD事業 | I Tソリューション 事業 | 全社・消去 | 合計 |
|------|----------------|------------|------------------|-------|--------|
| 減損損失 | — | 65,397 | — | — | 65,397 |

当連結会計年度（自 平成26年6月1日 至 平成27年5月31日）

(単位：千円)

| | メーカーバンダー 事業 | SKINFOOD事業 | I Tソリューション 事業 | 全社・消去 | 合計 |
|------|----------------|------------|------------------|-------|--------|
| 減損損失 | — | 22,128 | 3,414 | — | 25,542 |

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 平成25年6月1日 至 平成26年5月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成26年6月1日 至 平成27年5月31日）

(単位：千円)

| | メーカーバンダー 事業 | SKINFOOD事業 | I Tソリュー ション事業 | 全社・消去 | 合計 |
|-------|----------------|------------|------------------|-------|--------|
| 当期償却額 | 9,917 | — | — | — | 9,917 |
| 当期末残高 | 56,200 | — | — | — | 56,200 |

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 平成25年6月1日 至 平成26年5月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成26年6月1日 至 平成27年5月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 平成25年6月1日 至 平成26年5月31日) | 当連結会計年度 (自 平成26年6月1日 至 平成27年5月31日) |
|--------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額(円) | 831.98 | 789.20 |
| 1株当たり当期純損失金額(△)(円) | △19.47 | △26.92 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 平成25年6月1日 至 平成26年5月31日) | 当連結会計年度 (自 平成26年6月1日 至 平成27年5月31日) |
|-----------------------|--|--|
| 当期純損失金額(△)(千円) | △34,466 | △49,535 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純損失金額(△)(千円) | △34,466 | △49,535 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 1,770,059 | 1,839,856 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

6. その他

役員の異動(平成27年8月20日付予定)

新任取締役候補

社外取締役 高野 済 (現 株式会社ファインド・ニューズ代表取締役社長)